

# AWA

awa onna akindo juku  
おんなあきんど塾



AWAおんなあきんど塾ってなに？  
AWAおんなあきんど塾のあゆみ  
発刊によせて  
AWAおんなあきんど塾で地域を変えたい  
ACTION&PROPOSALS  
一緒に活動しませんか  
呼びかけ人から熱いメッセージ

創刊号  
**1996**  
**Spring**

AWA ONNA AKINDO JUKU

awa onna akindo juku Vol.1 Spring 1996

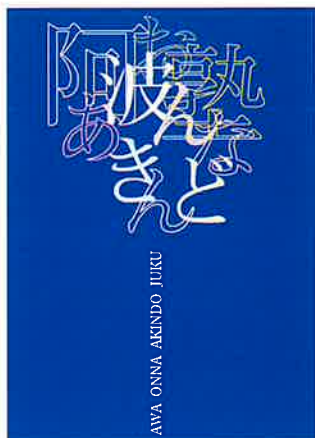
編集・発行/AWAおんなあきんど塾・徳島市

お問い合わせ先/徳島市商工課 徳島市幸町2丁目5

Tel:0886-21-5225・5226 Fax:0886-21-5196

デザイン/株式会社

awa onna akindo juku



Gallery

# AWAおんなあきんど塾ってなに?

「経営者のための勉強塾かしら」「セミナーの名前では?」。

AWAおんなあきんど塾とは、硬くきちつと言うならば『徳島の経済活性化のため、知恵と行動でその方策を探り、かつ取り組みをしていこうとする、徳島の女性経営者の集まり』なのです。

それなら、なぜ、今の時期に、何を目的に組織され、これからどのような活動をしていこうとするのか。

以下、少し読んで欲しいと思います。

## いま、こんな時代だから

「東京」が壊れ始めています。

バブルの崩壊とともに、取り残された高層ビルが空きビルとなり、人が安心して暮らせる場所ではなくなりつつあります。

何千万もの人々が、新たな「終(つい)の住み家」を求めた時、今の徳島は「いらっしゃい」と手を広げられるでしょうか。

平成10年には明石海峡大橋が架かり、徳島は本州と完全につながります。その時、都会から希望を持ってやってくる場所になっているのか、それとも橋を渡って人々が出ていく場所になってしまうのか。

真剣に考えなければならぬときなのです。そして、残された時間が少ないことだけは、まぎれもない事実なのです。

## こんな課題が、

私たちが住み、次代に継承していかなければならない徳島のまち。

まちづくりの大きな要素の一つに「豊かで活力ある産業社会」がありません。

経済的な発展のあるまちに――。

橋が架かり、高速交通・広域交流時代が目前の徳島にとって、この問題は急務です。

こうしたなかで、いま徳島のまちには、「地域経済を沈下させずに活性化していかなければならない」という、大きな課題が課せられているのです。

## だから、あきんど塾

帝国データバンクの調査によると、徳島県は女性社長の比率が全国で2番目に高い、とか。この評価の一つに徳島の女性のバイタリティーやたくましさ、もあげられています。(1995.4.26付毎日新聞)

そんな私たちですが、会社経営をしながら、常に自分の仕事とは別にふつふつと熱い思いが胸にありました。



徳島市からの呼びかけにより、「AWAおんなあきんど塾」を10人で結成しスタート。

これまで行政の呼びかけによる会議や委員会などは「市民参加と言いながら、行政の敷いたレールの上を走らされていたじゃない?」テーマには賛成だから、行動内容はだまってまかせて!と、大見栄を切って動き出したのですが。

「まちづくり→地域経済の活性化」などという、あってないようなテーマのもと、10人は何をどうするのか四苦八苦。

でも、やがて方向が見えてきたのです。

「徳島の明日のために、ビジネスに関わる女性として何かをしたい」「せっかくのこのパワーを、自分たちの地域の活性化に生かさぬ法はない」。

こんな思いと、徳島のまちが持つ課題とが、結びついたわけなのです。そして、取りあえずは10人が集まり議論をしてきました。

再記しますと「AWAおんなあきんど塾」は、徳島の経済活性化のため、知恵を出し行動する女性経営者の集まり。そして本誌のタイトルともなっています。(このあたり少々複雑ですが……)。

つまり、私たち「AWAおんなあきんど塾」が議論してきた記録であり、経済社会への意見書であり、提言書、情報、ニュース、ネットワークの場、等々でもあるのです。

## ■平成7年8月1日 AWAおんなあきんど塾 第1回

塾の立ち上がりとして、

- ①メンバー紹介
- ②市長による挨拶と総合計画説明
- ③庄司デザインコンセプト所長・庄司廣氏による講演「ふたつの[fit] proFITと beneFIT」
- ④趣旨説明
- ⑤庄司氏と意見交換

## ■平成7年9月1日 第2回

①各人がビジネスに関わる者として「徳島というまち」への思いを語る

## ■平成7年10月2日 第3回

①川めぐりをしながら、新町川を守る会

## 発刊によせて

### AWAおんなあきんど塾 発足に寄せて

ランダムトークメンバー  
株式会社シケン  
代表取締役社長  
高岡 智也



“女性の時代”という言葉がささやかれて久しいという感がありますが、ここへきてようやく実質的な動きが見られるようになり、それだけに社会の期待も高まってきているのではないのでしょうか。

これから必要なのは、男女共生の時代到来という認識の基に、男性社会に求められる“理解”と、

女性社会に求められる“仕事社会への責任”とのバランス、そして一つの目的に向かってなされる社会の正しい努力だと考えます。

今回のアクションは、その正しい努力の一つのあらわれであると私はとらえています。

“一足先に女性として、経済社会にその歩みを踏みだした先陣隊が、後に続くものを育てることの一助となる、その努力の積み重ねが、結果として明日の徳島の活性化につながる。”

もっと早い時点で着手されるべきネットワークづくりが、時代の要請と賢者の気づきによって一つのアクションとして具現化されたことに、今後の期待も込めて、拍手を贈りたいと思います。

## 徳島の女性経営者にエール

漫画家 柴門 ふみ



私は現在、ビッグコミックスピリッツで「お仕事です!」という女3人が会社を作って発展させてゆくという漫画を描いています。

この作品を描くために、現在東京で会社を興して活躍中の女社長数名取材しました。イベント会社、電話サービス、人材派遣業と、彼女たちの職種は様々でしたが、皆一様に明るく、そして何より他を圧倒するパワーの持ち主でした。そして、取材することによって、私も女社長たちから力強いパワーを与えてもらった気がします。

さて、徳島にも女性経営者をサポートするシステムができた、と聞き

ました。とても嬉しいことだと思います。

徳島の女性経営者の皆さまも、明るさとパワーで、成功を勝ち取って下さい。

(注: 柴門さんは徳島市出身。1983年に「P.S元気で、俊平」で第7回講談社漫画賞、92年には「あすなる白書」[家族の食卓]で第27回小学館漫画賞を受賞。「あすなる白書」[東京ラブストーリー]はテレビドラマとしても大反響を呼ぶ。エッセイストとしても著書多数)

## 21世紀社会へのかけはしに

徳島市長

このたび「AWAおんなあきんど塾」が発刊される運びとなりました。ご承知のように、本市は一昨年度に第三次徳島市総合計画を策定し、これに沿って行政推進をしているところなのです。

なかでも、豊かで活力ある産業社会を形成することは、徳島市の将来像の実現に向けた施策大綱の一つとして、取り組みを進めているものです。

私は常々、都市づくりを行っていくには、市民の皆さんが築きあげてきた幅広いネットワークに基づく英知を結集することが何よりも大切であると考えております。そういう意味で、AWAおんなあきんど塾の皆さんが、徳島経済の活性化のために、知恵と行動で“一肌ぬごう”とされていることに敬意を表し、感謝を申し上げます。

明石海峡大橋は平成10年に開通し、徳島は近畿圏に直結することになります。AWAおんなあきんど塾も、その影響力で徳島経済に新しい風をおこし、真に豊かで活力ある産業社会を21世紀へつなぐかけはしとなれることを、私は期待しています。



AWAおんなあきんど塾で

# 地域をこんなに変えた〜い!!

地方の時代と言われて久しいなか、わが徳島でも近年色々な取り組みがなされてきました。

徳島を活性化する方法で、いちばん大切なことは、徳島独自の特性を生かし、それを発展させることだと思っています。

そこで、私たち女性経営者の立場・感性を生かし、徳島のあるべき姿を考えてみました。

## 女性起業家が育つまち

## Innovation.1

平成6年徳島県商業統計によると、同年市内商店数は5,838店で、対平成3年増加率はマイナス5.8%、工業統計でも、徳島市の事業所数は、平成5年の対前年比がマイナス3.4%となっており、商工業事業所数とも下降状態となっています。

たしかに、企業経営者である私たちにとって、いま、これ以上の企業が増えることは、いわゆる同じパイの中で競争相手が増え生存競争も厳しくなるということにつながります。

しかし、それよりも、多くの同業者が切磋琢磨していくプロセスで、その結果として質の高い企業として生きていくなど、競争の原理から考えても、同じ道を歩む人たちが育ってくる方が、経済界にとっては、

メリットが大きいのです。

徳島のパワーを結集して、徳島の中だけに留まることなく、全国に向けて発信すれば、パイも広がるでしょうから。

加えてもう一つ。今まで経済活動に参加していなかった女性たちの力も、見逃してはならない徳島経済への活力であると考えます。

女性の感性って、やさしさや柔軟性、ち密さ、だけではないのです。元気さ、着眼のユニークさ、進取の気象、創造性などなど、とても多様なのです。

経済のソフト化、サービス化などと言われるいま、まさに経済界は個性ある女性の時代なのです。

女性起業家が育つまち



経済と文化が融合するまち

## Innovation.3

### 経済と文化が融合するまち

成熟化した経済社会で、地域経済が発展していくためには、オリジナリティーあふれる経済活動を行っていくことがその一つと考えられます。

徳島の経済の歴史を振り返る時、藍で栄えた阿波がまず挙げられます。経済活動の元気さに加え、その時代には文化の躍動する徳島があったのではないのでしょうか。

そのことから、固有の文化の存在するところに、経済発展もあると考えます。

もちろん、現在の徳島でも、商品開発をして全国発信し大活躍の企業もありますし、藍を使ったアイテムなど手工芸もあって、文化と経済の相乗効果と見られるものも多くあります。

しかし、私たちはそういった徳島文化の“定義”の枠を外し、「徳島らしい、徳島方式による、文化都市・徳島」を新たに構築したいと思います。

つまり、徳島文化の概念を新たに設定するわけですが、それでは新たな徳島文化とは何なのか、それはこれから探していくものなのです。

徳島らしい文化を探究し、発見し、結果としての「驚き」が、徳島の経済を活発にする橋渡しとなる、そんなまちになればと思います。

企業経営者が成長するまち

## Innovation.2

### 企業経営者が成長するまち

「うかうかしてはいられない」。何の世界でも、頑張る後輩たちを眺めながら、先輩たちの言う言葉です。

うれしい言葉ですよね。  
しかし、厳しい言葉です。

後から追われたり、激しい環境変化などがあつたりするなかで、企業が既存の事業のやり方を安穩と続けていたのでは、企業としての成長を望むことができません。

しっかりと時代を見据え、情勢を踏まえて、企業自身も成長していくことが大切。

そのためにも、さまざまな機会や場づくりを進めていくことが必要と思われま

## 女性企業者のためのネットワークづくり

現実には、いま女性経営者のネットワークと言えば、クラブや交流会などいくつかあります。

しかし、経済を通したまちづくりという点から言えば、いろいろな分野の垣根を越えて、ビジネスに携わる女性のネットワークができるような体制づくりが必要で

す。このための行政による仕掛けや呼びかけを提案します。

## 女性企業者のためのサロンづくり

ネットワークを前提とした活動や交流の拠点として、サロンを開設することを提案します。

単に女性企業者がミーティングをすることのできる場所としてだけでなく、将来的には、そのサロンへ来ればライブラリーがあって情報がある、情報発信もできる、などの機能も備わったものであることを期待します。

## 女性企業者のための勉強会の支援

女性企業者が互いに切磋琢磨して成長していこうとするとき、会場提供や情報提供、講師派遣などによるバックアップを提案します。

行政によるこれらの形での支援は、女性企業者への大きな支えとなるはず

## 女性と経済シンポジウムの開催

前述の女性と経済シンポジウム開催に関して、AWAおんなあきんど塾と一緒に実施することを提案します。

## Sundries

### 「女性が元気・徳島市」

まちの活性化ということから、ディスプレイコンテストや水上タクシーの運行を、また女性に焦点をあてたものとしてワーキングファッションコンテスト、女性に特典のある日の設定や共催などを、共感してくれるグループ、団体へ働きかけたいと考えています。

徳島経済の主要な担い手は中小企業です。

中小企業が元気でいるためには、もちろん企業者自身が努力していくことが第一です。当然の話です。

しかし、中小企業が元気→地域の経済活動が活発→雇用の拡大にもつながる→まちが豊かになる、などの効果を考えていくと、これは市民全体の利益につながることで

す。このことから、中小企業対策として、徳島市に女性起業家育成・企業者支援のためのいくつかのプログラムを提案します。

## 女性起業家育成セミナーの開催

起業を志す女性が、そのために必要な知識やノウハウを習得できるためのセミナーの開催を提案します。これにより、細切れの知識を系統だてて得られるし、同じ志を持つ者同士のネットワークや、いい意味での触発などにつながります。

また、開催が毎年1回程度定期的に行われることで、女性の社会参加意識の高揚にもなるのではないかと、思います。

## 女性起業家への融資の制度化

起業を志す女性にとって、必ず出会うことの一つに、資金調達があります。

この支援として、公的な制度の実施を提案します。

女性だから、というだけで融資などの窓口が狭められた、という経験を持つ人も多いはず

です。しかし、民間金融機関だって言い分はあるでしょう。

担保力のなさなどからくる返済能力の弱さだけでなく、往々にして女性の場合事業計画や資金計画が不明瞭であったり、またそれらをプレゼンテーションすることに慣れていないことがあるようです。

これらを女性起業家支援セミナーでカバーするとともに、その受講などで熱意を見せた女性に対し、公的融資制度でバックアップをします。

# PROPOSALS ACTION

徳島の地域経済活性化のためには、考えるだけなら誰でもできる。私たち「AWAおんなあきんど塾」は、考え、さらには行動まで起こしてしまおう集団でありたいと思っています。

その行動とは、つぎのようなことです。つまり「自分たちで実践しようよ」という分野と「自分たちだけではできないけれど、一緒に協力してやりませんか」という分野、そして「これはやってくださいね」と提案する分野に整理しています。

なお、ここに書いたものはどの分野も、全てすぐにできるものばかりとは限りません。私たちも自分たちでやるう、と決めているもののなかには、平成8年度に実行するものもあり、またその翌年度に取りかかろうとしているものもあります。決して焦らず、一つひとつ手掛けていきたいのです。

## 1.女性起業家セミナー

「ちゃんと働きたい」「自分の考えを事業化したい」。

社会貢献や経済的自立など志向はさまざまながら、最近、起業を目指す女性が増えているようです。

自主自立の思いと、新たな事業のアイデアを持ちながら、そのノウハウが分からない女性たち、女性であるがゆえに融資などの窓口が狭められて

しまう現状の女性たち、の事業起こしをサポートします。

具体的には、新たに事業を起こすために必要な開業の手続き、事業計画の立て方、資金調達の方法など基礎知識の習得を内容とする女性起業セミナーの開催を徳島市に提案するなかで、ケーススタディーなどを分担したいと考え

## 2.ニュービジネスメッセ

起業希望者を募り、支援対象者を特定したうえで、起業のための動き方を徹底的に伝授します。

経済界にとっては、新しいビジネスの掘り起こしに期待が持てるのではないでしょう

か。起業希望者には失礼な言い方かも知れませんが、言わばひとつのシュミレーションとして、AWAおんなあきんど塾メンバーにとっても、企業経営の再確認として勉強になると思うし、事業拡大のヒントがあるかも知れません。

## 3.女性と経済シンポジウム

女性の社会参加、そのための環境整備、男女雇用機会均等法の施行。このようなかで、女性のライフスタイルが大きく変化しています。

女性だって、地域経済のりっぱな担い手になれる――。

女性と経済の接点、ビジネスとまち

づくりの関わり、などをテーマにシンポジウムを行い、いま経済に関わっている女性や将来関わりたいと考えている女性たちの“これまでの計数管理第一主義の男性によるビジネス”とは違う、新しい価値を追求するビジネスへの思いを語りあいましょう。

## 4.ネットワークづくり

ヒト、モノ、カネ、とこれは会社経営の基本です。ヒトとは人材という意味だけれど、人脈も含めて考えてもいいのではないのでしょうか。

人脈、つまりネットワークです。仕事をしていくうえで実際に、また精神

的に、支えとなったり目標となったりする人々との繋がり。

AWAおんなあきんど塾は、そんなネットワークの核になりたいと考えています。

## 5.機関誌発行

女性企業者の意見発表や情報交換、ネットワークの場・機会として機関誌「AWAおんなあきんど塾」を発刊します。

年2回程度を予定しています。

## 6.若手文化人の発掘

徳島で活躍し、21世紀の芸術、文化を担う力を秘めた若手文化人を発掘し、その交流をサポートすることによって、新たな徳島固有の文化を生み出します。

取りあえずは、AWAおんなあきんど塾機関誌の一部ページを、次世代文化人の交流、情報交換、作品の発表の場としての「ギャラリー」に充てます。

将来的には、プロフェッショナルとして芸術活動をする若手芸術家が、徳島経済界とのセッションにより、新しい徳島オリジナルブランドを全国に発信できるような場づくりが必要と考え





私たちと

# 一緒に活動しませんか。

「ビジネスの関わりを通じて、自分たちの住むまちをよくしたい。そして自分も成長したい」と考える方、徳島の明日のために、一緒に取り組んでみませんか。一緒に成長しませんか。

## ●具体的には

具体的には、右横のシステム図を参照しながら、読み進んでください。

このなかで、『運営メンバー』とは、AWAおんなあきんど塾の活動すべてに関わる人のこと、です。みんなと考え、企画し、行動するメンバーのことです。事業によっては分科会に分かれているやっています。

『実行パートナー』は、事業に賛同して、共にその「事業の推進」をしていく人です。

例えば、AWAおんなあきんど塾がシンポジウムの開催や機関誌発行をします。その際、文章を書くことが好きなので機関誌の発行に関わりたく、という人は機関誌発行事

業のパートナーになってもらう、ということなのです。会議の開催などは慣れているので、シンポの開催に関わりたく、という人はシンポジウム開催パートナーになってください、というわけです。

『サポーター(その他パートナー)』は、その名のとおり、塾の応援団です。精神的支えであったり、知恵を貸してくれる、経費を出してくれる、労力を提供してくれる、PRに努めてくれる、人を集めてくれる、と協力

の仕方はさまざまいいのです。もちろん、応援団をしていて、運営パートナーになったり、実行パートナーに変更もできます。

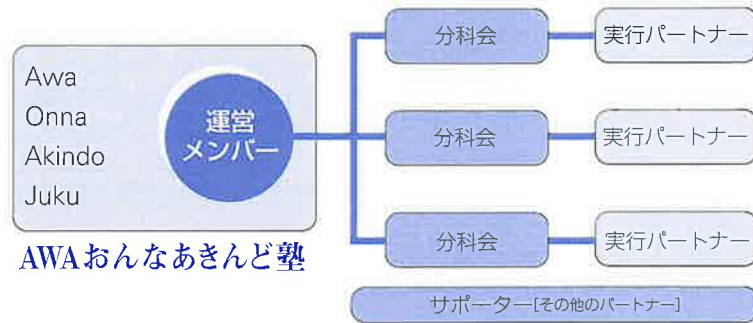
## ●条件

『運営メンバー』になるための条件があります。

- ①女性であること
- ②ビジネスに関わっていること、または将来関わりたいと思っていること
- ③できるだけ、シンポジウム(平成8年6月ごろ開催の予定)に参加することを原則とします。

『実行パートナー』と『サポーター』は、条件はありません。男女問

[システム図]



AWAおんなあきんど塾

## 呼びかけ人から熱いメッセージ



### 人生、仕事、しなやかにしたたかに

南常三島町3-40-8 ステラ・インコーポレイティッド

ディレクター 植田 貴世子

Profile●保育サービス、英会話スクール、英会話を取り入れた保育所経営などで県内のパイオニア的存在。自身も各種委員会委員を歴任。1995年度AWAおんなあきんど塾座長。

時代の流れに対応していける柔軟性。発想の転換から新しいものを生み出す独創性。物事に誠実に誠実に接することのできる、あたたかい心。そしてしなやかに、したたかに、仕事を続ける日々。

私の大切にしているもの。女性の視点を付加価値とした、商品や企画が、受け入れられる時代となった今だからこそ、責任感を伴った女性の仕事に対する姿勢が、より求められるのではないのでしょうか。

りきまず、でも女性の使命も果たすため、その手を止めず、しなやかに、したたかに、充実した人生がおくれれば……。

わず、個人・団体不問です。

## ●募集の時期

募集の時期については、シンポジウム開催と併せて、必ず広報します。でも、その前に“メンバー予約”をしておきたい人は、ぜひご連絡をいただきたいと思います。

## 連絡先・お問い合わせは

■AWAおんなあきんど塾座長 (植田貴世子)宅  
ステラ・インコーポレイティッド  
徳島市南常三島3-40-8 Tel:0886-23-6390

■AWAおんなあきんど塾編集委員長 (河野世津子)宅  
株式会社ワーク・サイン  
徳島市南矢三町3-3-22 Tel:0886-31-4844

■徳島市商工課/徳島市幸町2丁目5  
Tel:0886-21-5225.5226  
Fax:0886-21-5196



## 塾を抜きには 経済を語れず

名西郡石井町高川原高川原966-4 株式会社アゲイン 代表取締役 稲実 房子

Profile●徳島で国産が開かれたとき、マスコットの「すだちくん」ぬいぐるみを一手制作。女性だけで起業。

AWAおんなあきんど塾(私たち)は、女性が真正面から経済を見つめ、有能な女性起業家を育て、徳島の発展に貢献しようとしています。21世紀に向かって女性の未開発の能力と知恵を出し切れるような母体となり、AWAおんなあきんど塾を抜きにしては徳島の経済を語ることはできない、と言われるまでに成長させたいものです。私自身、女社長と呼ばれて恥じない会社経営ができるよう、共に頑張りたいと思います。

## 出逢った。語った。熱い思いを

中常三島町1-6-3 ヴァイトラージュ1F 株式会社ユニフォーム

代表取締役 岡部 恭子

Profile●VI、CIに関連した企画提案型のユニフォーム販売会社を経営。自身もカラーコンサルタント。東新町商店街の活性化に関わる。

1995年より、経済の活性化を通じたまちづくりというとても間口の広いテーマに向かって、それぞれが熱い思いを語り、意見を述べ、やっと一つのハードルを越えようとしています。

私にとっては、経済という同じ土俵に立つたくさんの人に出逢い、そして日ごろなかなかお会いできそうもない方々の意見もお聞きすることができる機会でした。

小さな希望にも大きな夢にも向かってゆけそうな、そんな気がします。阿波女のやさしさと、こまやかさ、元気を現実のものとして表現することを、二つめのハードルにしたいと思っています。



## 元気女性へ起業をお手伝い

佐古一番町8-9(ショールーム) 角元産業株式会社

取締役経理部長 角元 昭子

Profile●徳島の代表的な地場産業である鏡台製作・販売会社を経営。自身もインテリアコーディネーターとして、デザインに知恵を出す。

我が愛する徳島市が、元気で魅力あるまちであるために、市民誰もが生き生きと自分らしく暮らせるには、文化的生活の向上はもちろんですが、ベンチャービジネスの育成や、いろいろな分野での起業家の台頭が不可欠であろうかと思われま。

昨今の女性のパワーのすばらしさ、活発さを思えば、徳島市の女性が元気であることは、徳島市が活気づく一大要因となります。

働く女性、働きたい女性の一人ひとりが、自分の生き甲斐と幸せを模索し、自分に合った職業選択、または起業により、自分を生かし、成長し、社会に還元できるよう、お手伝いできればと思います。





## 時代は変わりました

南矢三町3-3-22 株式会社ワーク・サイン

専務取締役 **河野 世津子**

Profile●女性の目、サインデザイナーの目で様々なまちづくりに関わる。  
自身の広いネットワークで、屋内外サインやショップデザインに加えイベント企画なども手掛ける。

ある日突然、今まで自分が考えていたことや、あたりまえのように行っていたことが、陳腐化してしまっていることを、気づかれたことがありますか。

時間の流れる速度が速くなってしまっているかも知れないと思われるほど「とき」も「流行」も何もかも、あっという間に変化している今、しっかりと明日を見据えるのに一番大切なことは、自分が歩んできたベーシックな部分に、絶え間なく味付けをしていくことだと思います。

一人で考えて無理なら、たくさんの人に聞けばいい。きっといっぱいアイデアがあるはずですよ。

あきんど塾で、同じ立場の仲間と同じ危機感を持ちながら、明日への具体的な取り組み方を編み出せる場としてフル活用できたらと考えています。

明日の徳島がよりオリジナルで素晴らしいまちになるために、私たちの微力なアクションも集積すれば、大きな流れとなることなのでしょう。



## 変わらない? 変わる!!

東新町1-9 有限会社サマン

代表取締役社長 **中山 律子**

Profile●東新町1丁目商店街振興組合の女性メンバーでつくる「ひょうたんクラブ」の一員として、新町の活性化に取り組む。一味違うブティックを経営。

AWAおんなあきんど塾に入り勉強を重ねて約1年。その結果、自分の仕事の小売業の分野を考えてみると、徳島でいながら世界の経済社会の変化を肌にひしひしと感じる毎日です。

このような今の時代を乗り切る武器となり、エネルギーとなるのは、私たち阿波女の持つ強さ、胸の奥に秘めた熱い情熱ではないでしょうか。

自分たちの自己主張を、何かの形に表現したい女性たちのためにも、役に立ちたい。そう思っています。

一緒にやりましょう。お互いに知らないこと、知っていることを交換する機会かもしれません。あなたの考えと、私たちの経験を交換してみましょう。

## 幸せまちづくり、共有いかが

応神町吉成字西吉成43 東光株式会社

開発研究部取締役部長 **佐藤 公子**

Profile●パンティストッキングをはじめファンデーション・健康衣料製造の会社で、経営陣としてまた技術者として研究開発に取り組む。徳島ブランド商品開発のチームリーダー。

今、私たちを取り巻く生活環境には仕事、家庭、教育、住宅など、どれを取っても問題点が数多くあります。けれども、何もしなければ問題を抱えたままでは刻々と過ぎ、時代は移っていきます。

少しの時間でいい、考えてみよう、話し合ってみよう、行動を起こしてみよう。“心が変われば世界が変わる”。

私たちメンバーはそう考えてきました。皆さん、少しの時間共有しませんか。幸せまちづくりにご一緒しましょう。



## ビジネスウーマンに情報交換の場を

西大工町1-13 (南)フラワーショップ慶

代表取締役 **米川 慶子**

Profile●フラワーデザインやアレンジメントの県内先駆者としてスクールやショップを経営。ハンドクラフト協会長として業界のリーダーを務める。

近ごろは女性の社会進出も目立ってきました。しかし、ビジネスウーマンゆえの悩みや問題も抱えていることでしょう。

そんな悩みを持ち寄って、話し合えたり情報交換できる場として、この機関誌が少しでもお役に立てたらと願っています。

また、愛するこの徳島を、私たち女性が女性らしい発想をもって、もっと素敵なまちへと変えていくことができれば、本当に素晴らしいことだと思います。



## 働く女性に住みよいまちに

下助任町3-20 株式会社ときわ

専務取締役 **高畑 富士子**

Profile●女性社長の比率全国第1位の青森県出身。  
プライダルのに関する衣装やプランなどを幅広く提案、提供する会社の経営陣。

メンバーの中で、唯一県外出身である私ですが、徳島の女性の行動力とパワーにはいつも驚かされます。仕事に、生活に、前向きに頑張っている女性たち。その力を一つにまとめて、共通の目標に向かって進んでいったら何か生まれる……。そんな予感がします。

徳島で働く女性たちにとって、より楽しく、住みやすいまちになっていくように。私自身も少しでも役に立てたら。

そう信じてとにかくやってみます。ご期待ください。



## 初の社会参加です

秋田町2-30-4 株式会社六右衛門

代表取締役専務 **和田 玲子**

Profile●フランチャイズではない、地場の外食サービスとして、雰囲気のあるトレンドリーな店舗展開で経営。自身もメニューづくりから店内インテリアまで参画。

「食」のビジネスに携わって15年余。ただ夢中で走ってきました。ふっと我にかえるとき、自分の住む徳島のために何かしてきただろうかと、考えることがあります。

たしかに、私が提供してきた商品は、すべて徳島を念頭においてきました。でも今までお客さまに喜んでいただいた徳島への思い入れのアイデアを、もっと他の分野でもアピールしてみたい。

私にとって徳島のためにできる最大のことで。

私にとって、AWAおんなあきんど塾が、社会参加への第一歩なのです。